

博報堂D Yメディアパートナーズ、Standard Chartered Bank のSC Ventures と、
アニメやマンガをはじめとする日本IPの海外ビジネス拡大と加速を促す
事業検討における覚書（MoU）を締結

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下博報堂D Yメディアパートナーズ）と世界的な総合金融グループである Standard Chartered Bank（本社：英国、CEO：Bill Winters）のベンチャー投資/インキュベーションユニットである SC Ventures（本社：シンガポール、CEO：Alex Manson）は、日本IPの海外ビジネス拡大と加速を促す事業検討を推進する戦略的パートナーシップに関する覚書を締結いたしました。

■戦略パートナーシップの内容について

(1) 日本IPの海外ビジネス拡大と加速を促す事業検討

近年、アニメやマンガなどの日本IPにおけるグローバル市場が伸長しており、特にインドネシア・シンガポール・タイを始めとしたアジアや中東の市場活性化の余地が大きいとみられています。そこで、博報堂D Yメディアパートナーズと高純資産者向けのオルタナティブ投資機会を提供するSC Venturesの「プロジェクト・エンGRAM」とがコラボレーションし、新たな収益化の道を切り開く事業を検討してまいります。

エンGRAMチームは、ライセンスホルダーと金融ライセンスを持つファンドマネージャーを繋げ、機関投資家や認定投資家向けのユニークな投資機会を検討します。

(2) トークン/フィンテック技術の活用検討

プロジェクト・エンGRAMの技術を活用し、トークン化されたIP資産を共同で開発・推進することも検討してまいります。プロジェクト・エンGRAMの技術を統合することで、クリエイターが自らのコンテンツをトークン化し、金融ライセンスを持つファンドマネージャーを通じて、世界中の投資家に提供する可能性を探ることを目指しています。このアプローチは、クリエイターに即時の資金調達機会を提供するとともに、投資家に多様かつポテンシャルの高い文化資産へのアクセスを提供する可能性を秘めていると考えます。

博報堂D YメディアパートナーズとSC Venturesは、これまで各社でコンテンツを投資可能な資産クラスに変える方法を模索/検討してきました。今回のパートナーシップを通じて、取り組みを加速させ、コンテンツと金融を融合させる新たな可能性を実現していくことを目指してまいります。

■プロジェクト・エンGRAMについて

IP トークン化の最前線に立つプロジェクト・エンGRAMは、ライツホルダーとファンドマネージャーをつなぎ、高純資産者向けのオルタナティブ投資機会を提供しています。

■会社概要

【株式会社博報堂DYメディアパートナーズ】

社名：株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

本社：東京都港区赤坂 5-3-1

設立：2003年12月

代表取締役社長：矢嶋弘毅

【SC Ventures】

Standard Chartered Bank のベンチャー投資およびインキュベーションユニットは、金融エコシステムの進化に応じたニーズに対応する新しいビジネスモデルと新技術をインキュベートし、成長を促進するとともに、新たな市場機会を創出するソリューションを開発するため、さまざまな業界のパートナーと協業しています。

社名：Standard Chartered Bank / SC Ventures

本社：16 Raffles Quay, #16-02, Hong Leong Building, Singapore

設立：2018年

代表取締役社長：Alexandre Lucien Manson, CEO

【本件に関するお問い合わせ】

・株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室 下田・大野 mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp

※博報堂DYメディアパートナーズは2025年4月1日に博報堂と統合いたします。4月以降のお問合せにつきましては、博報堂広報室 (koho.mail@hakuhodo.co.jp) までお願いいたします。

・Standard Chartered Bank / SC Ventures

Eugene Liang EugeneYuxian.Liang@sc.com